

第3章 事業の評価

アドバイザー派遣先となった訪問看護ステーションの看護職員に対し、アドバイザー派遣事業の評価を得るためにアンケート調査を行った。

当該事業の実施前に20か所にアンケートを送付したなかで、2回とも回答の得られた18訪問看護ステーション18名の看護師(所長・副所長・主任等)の回答を集計した。なお、アンケート用紙は参考資料として巻末に掲載している。

【回答者の属性について】

アンケートは事前と事後に回収したが、事前・事後の回答者はほぼ同じとみられた。

事前アンケートの結果では、看護師の職種としての経験は、回答者のうち55.6%が20年以上、15年から20年未満が16.7%、10年から15年未満が16.7%であり、9割が10年以上の看護師としての経験があった。一方で、訪問看護にかかわっている年数は1～5年未満が61.1%、1年未満が22.2%で、訪問看護の経験では8割強が5年未満という状況であった。

事後アンケートの回答者についてもほぼ同様の傾向にあり、看護師等職種としての経験は長いが、訪問看護への従事年数は5年未満と比較的短かった。回答者の属性は所長が約7割となっていたが、主任やスタッフも含まれている。

【管理・運営に関する相談】

今年度も管理・運営に関する相談がほとんどであった。昨年の結果も含め、開設3年未満の訪問看護ステーションでは、管理・運営に関するコンサルテーションのニーズがかなり高いことが再確認できた。収支改善と利用者確保、スタッフ確保の課題が大きく、訪問看護師のリクルートや新しいスタッフの教育の課題もあった。更に訪問看護師のスケジュール管理や、業務の効率化とサービスの生産性をどう高めるかなどの相談が多かった。ある訪問看護ステーションでは管理者が実践している方向が適切かどうかの確認をし、より良い運営の方向についてアドバイス受けたいとの相談も見受けられた。

「運営に関する知識・理解」「経営・組織作りに関する知識・理解」「業務改善に関する知識・理解」「記録方法等システム化に関する知識・理解」「スタッフ教育に関する知識・理解」、他職種連携に関する知識・理解「地域医療機関との協力体制に関する知識・理解」「管理職の資質向上に関する知識・理解」「訪問看護ステーションの資質向上に関する知識・理解」「サービスの評価に関する知識」の10項目について、事前と事後の比較を行ったがすべてにおいて向上していることが分かった。特に業務改善に関する知識・理解が深まり、管理職や訪問看護師の資質向上の効果が高かった。

以上のことから、管理・運営に関する相談に関してはアドバイザー派遣の効果が得られたと考えられる。開設まもない訪問看護ステーションでは、訪問看護に関する知識や経験

の不足から多くの課題に直面している現状があり、その課題に対しアドバイザーが豊富な知識と自身の経験を活かしながら適切に対応できていたことが明らかとなった。当該事業に満足しているとの回答は9割あり、アドバイザー派遣をまた受けたいとのニーズも9割あった。

アドバイザー派遣を受けた訪問看護ステーションの自由記載によると、疑問点が解決できたこと、家族的やり方から組織としての活動への改善点が見えたこと、運営について整理ができたこと、頑張っていこうという気持ちになれたことなど、相談支援が有効であったことが明らかになった。一方で、1年後にまた来てほしいとの意見も見られ、相談内容の量と質に対し、本事業の2回のアドバイスで対処できる限界も見えてきた。

【事例に関する相談】

事例に関する知識・理解度では関係した12訪問看護ステーションから回答を得た。

事前と事後では大きな差はないものの、より知識や理解が深められている。中でも事例対応への積極性の深まりが目立った。

事例を挙げると、ALSの在宅療養者、認知症者、がん末期の在宅療養者などの支援に関する相談が見られた。特に本人とともに家族への支援に関する課題も取り上げられた。

【アドバイザー派遣事業に関して】

派遣事業全体に関する満足度は高く、ほとんど100%が「派遣により何らかの変化がみられた」とし、90%強が1回あたりの相談時間は適当であったと回答していた。また、再度アドバイザーの派遣を希望したい回答も95%あった。派遣費用が有料でも利用したいという回答は、60%弱に見られたが、1万円～2万円以下の回答が多かった。

各アドバイザーの報告からも、開設まもない訪問看護ステーションが課題を相談する場がない状況が明らかになっている。今後も開設3年未満のステーションを対象とした本事業の継続が必要であること、全国的な展開と後継的相談支援を受けられるシステム等を地域ブロック単位で構築することが有効との意見があった。訪問看護ステーション間の連携を深めたり、訪問看護認定看護師の存在を伝える手段としても有効と考える。また当該事業は、アドバイザーである訪問看護認定看護師にとっても、自己研鑽のための貴重な機会となっている。

日本訪問看護財団は、さらに多くの地域で訪問看護認定看護師が社会資源として活用されるとともに、当該事業に関して日本訪問看護認定看護師協議会等と連携したいと考えている。

2017年度 日本財団助成 訪問看護認定看護師アドバイザー派遣事業 アンケート集計結果

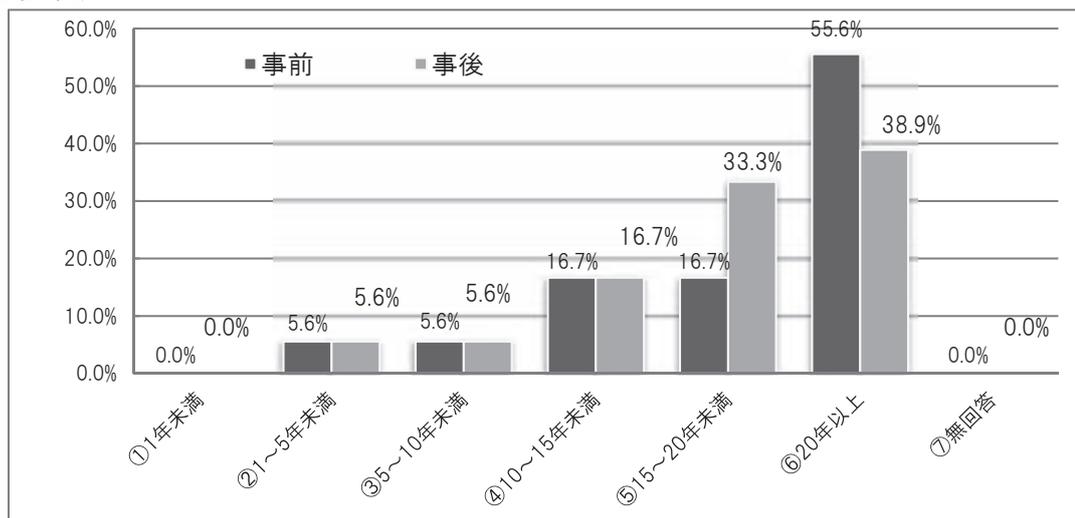
アドバイザー派遣先ステーションに対して、アドバイザー派遣事業の成果を確認するため、事前及び事後アンケートを実施した。なお、アンケートは派遣先ステーションに記入して頂いた。

Q1 職種・経験年数や職位について (n=18)

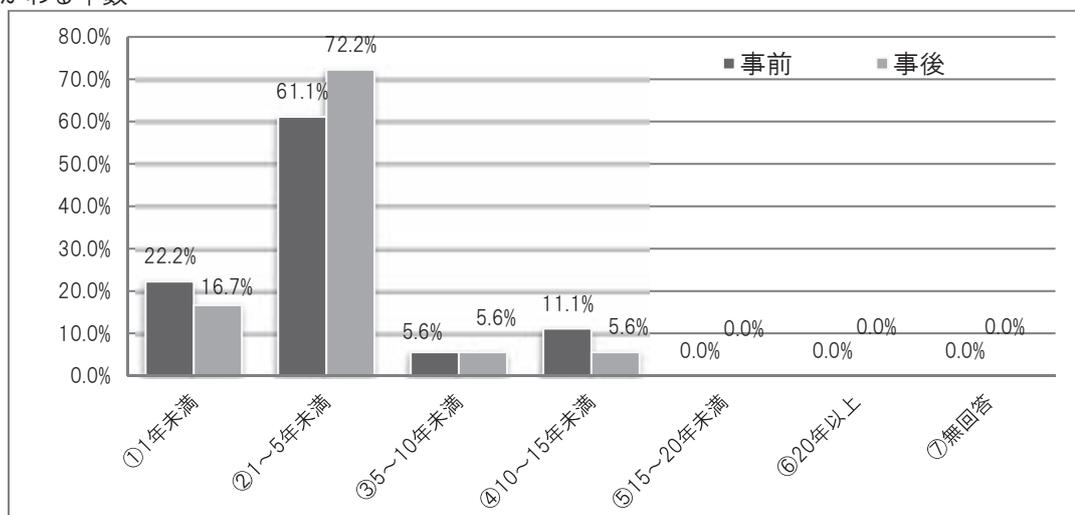
① 職種

回答者のすべてが看護職であった

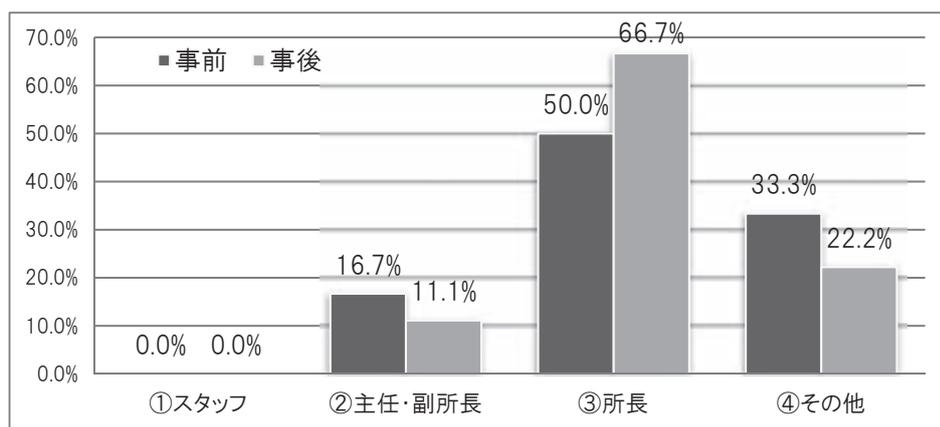
② 職種としての経験年数



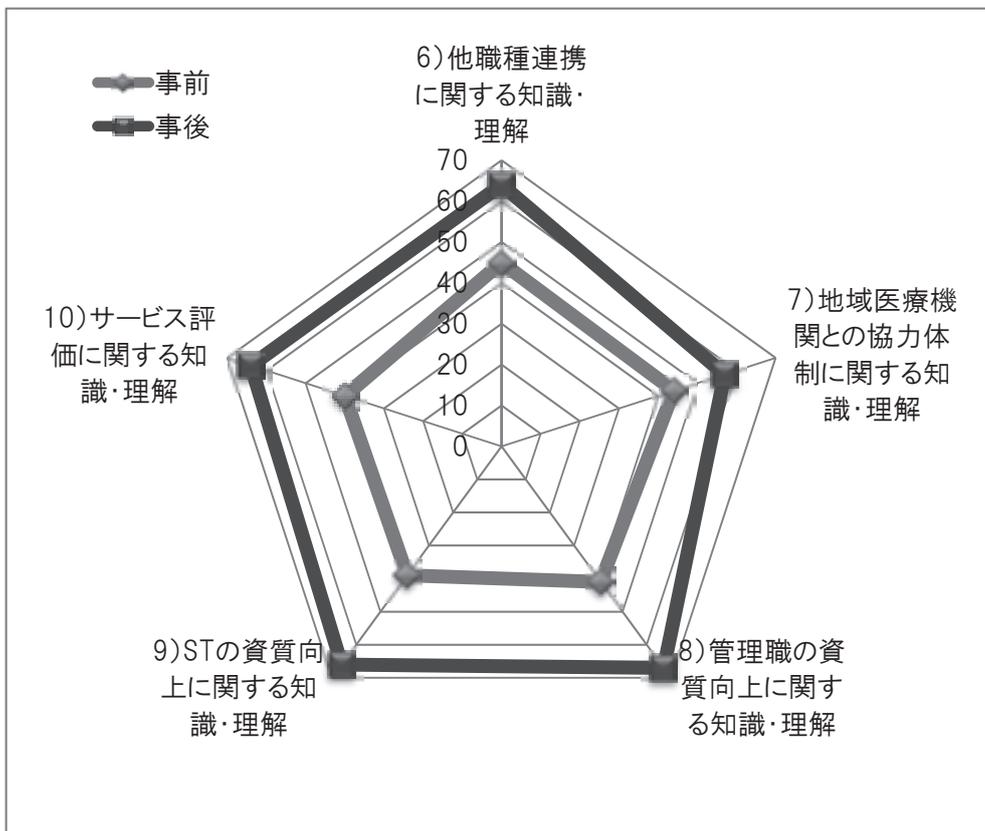
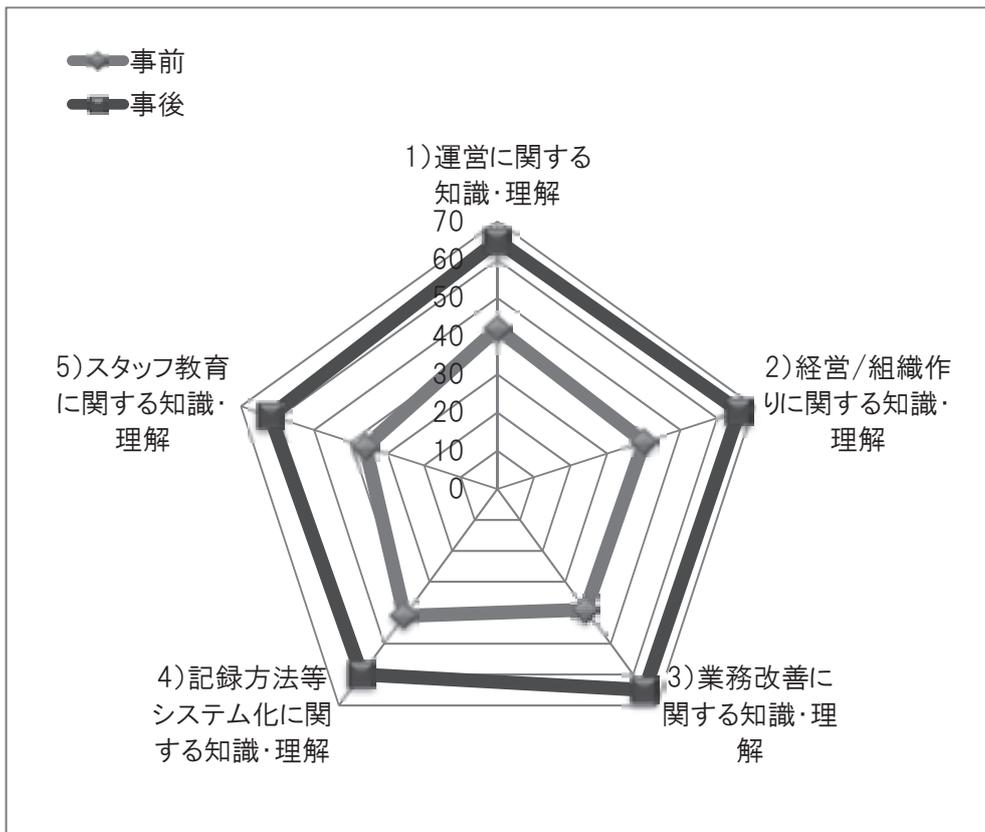
③ 訪問看護にかかわる年数



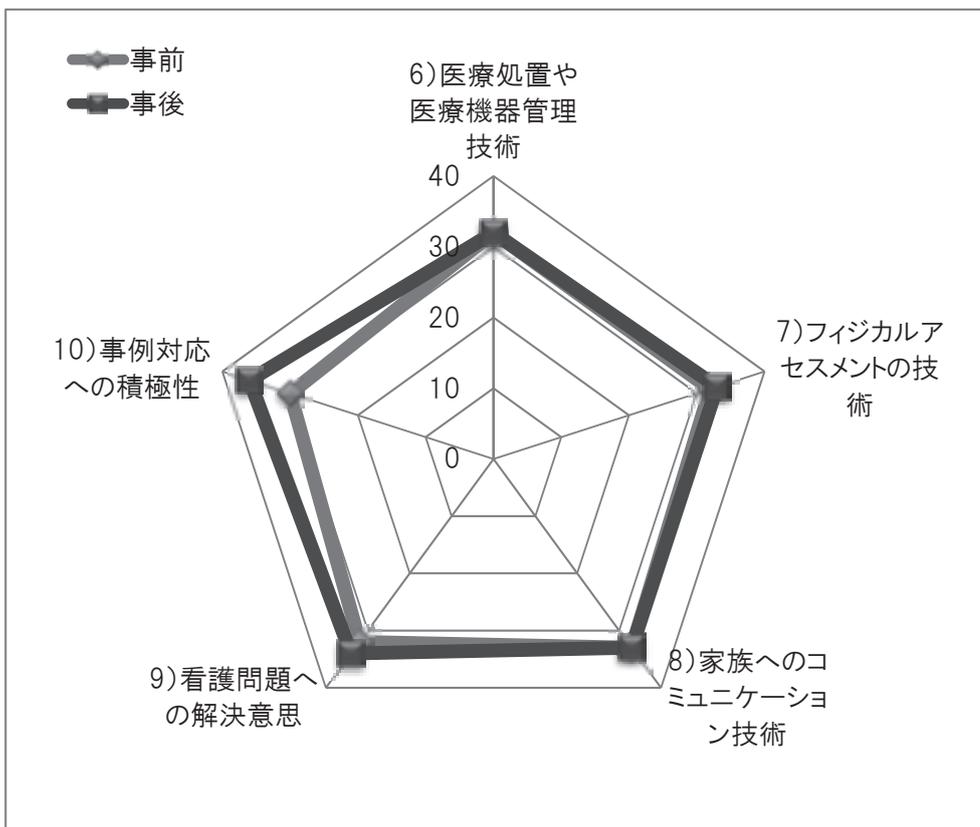
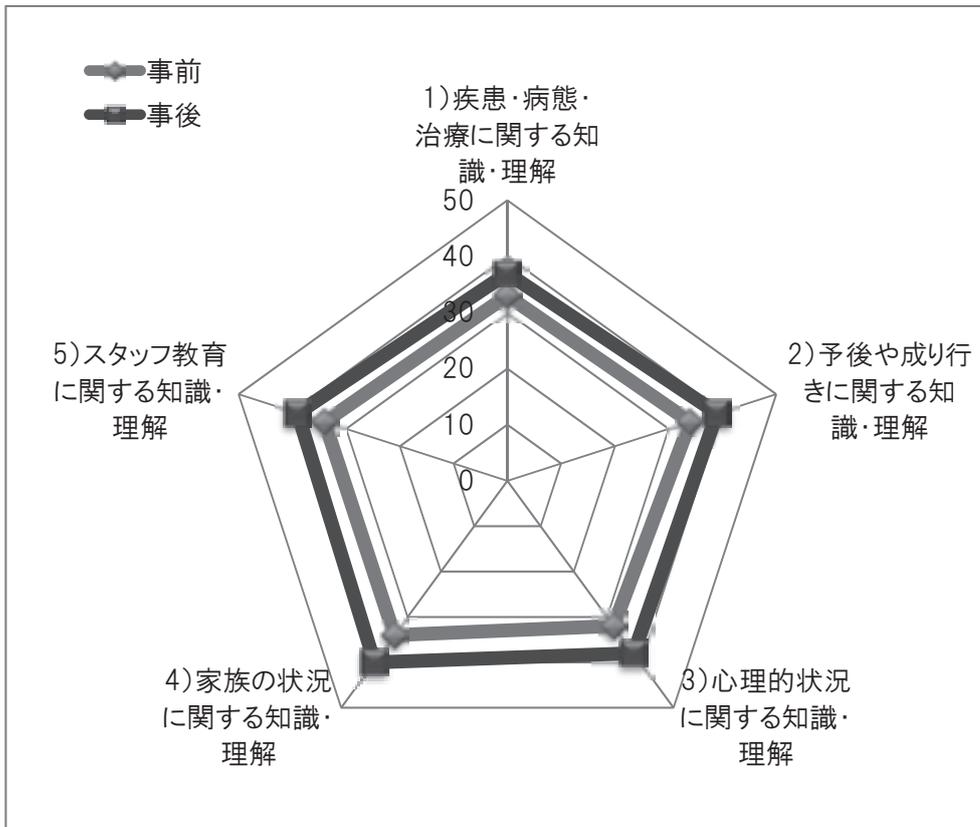
④ 現職場の職位



Q2 管理・運営に関する知識・理解度(n=18)

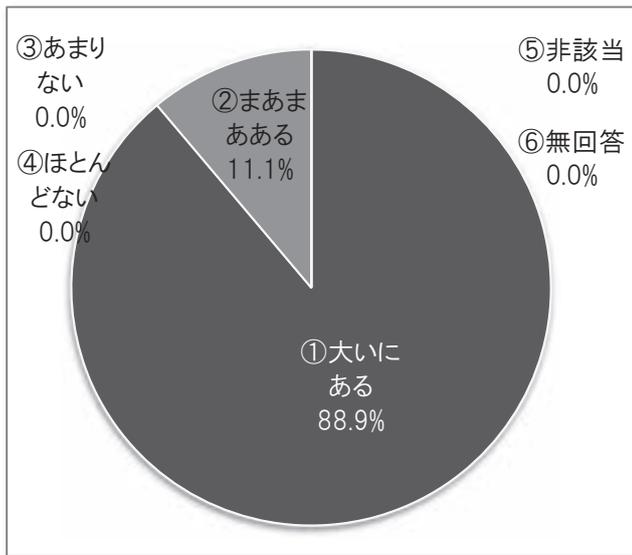


Q3 事例に関する知識・理解度 (n=12)

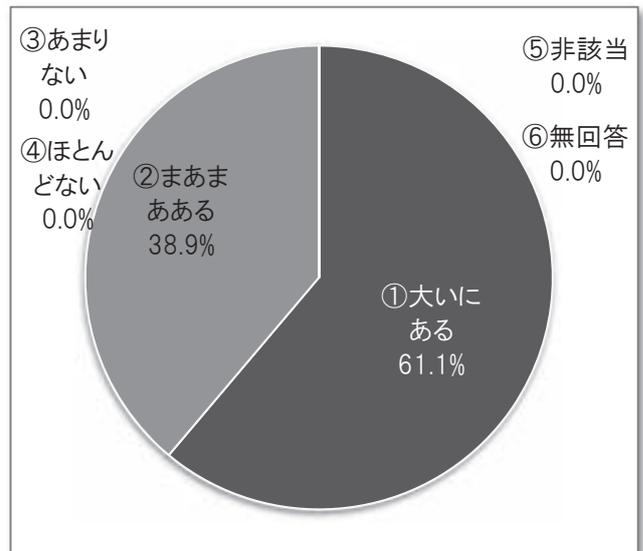


Q4 アドバイザー派遣事業について (n=18)

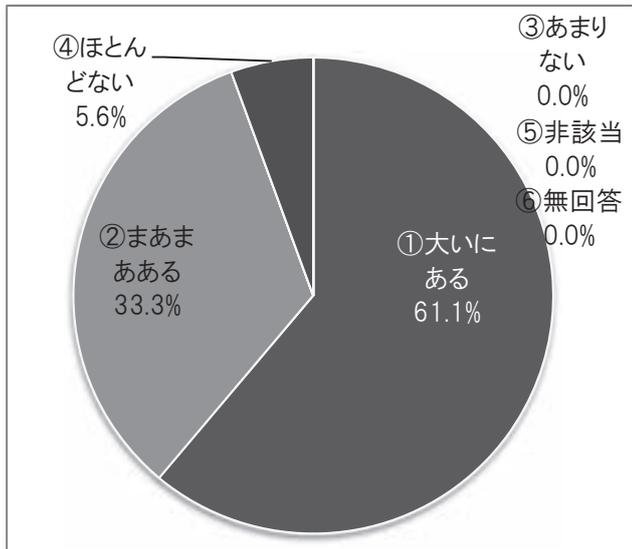
①アドバイザー派遣に満足している



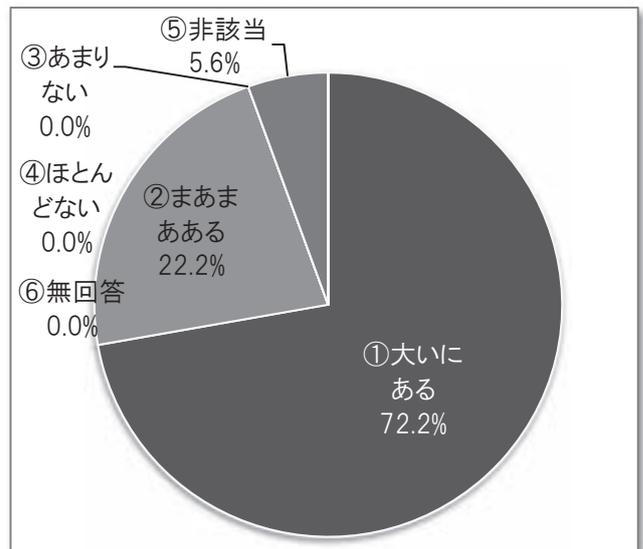
②アドバイザー派遣により、ステーション内に何らかの変化がみられた



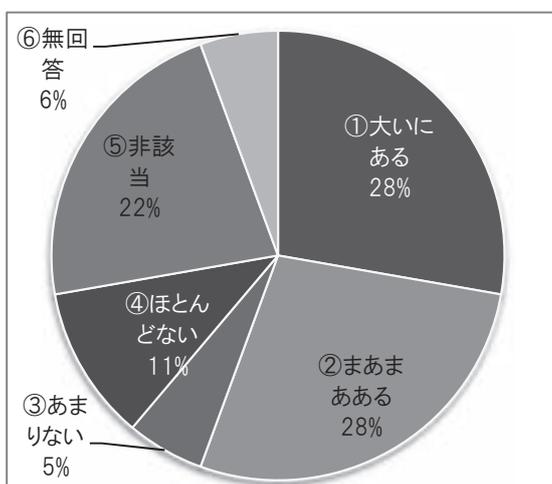
③アドバイザー派遣の相談時間は適当であった



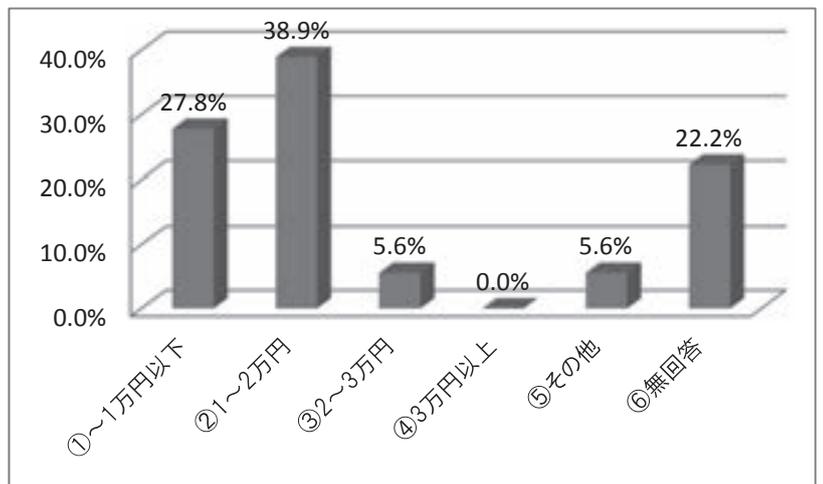
④アドバイザー派遣をまた別の機会に受けたい



⑤派遣が有料であった場合、アドバイザー派遣を依頼したいと思いますか？



⑥アドバイザー派遣料として支払い可能な金額はいくらですか。



Q5 アドバイザー派遣事業やこのアンケートについて

- 実際にステーションに来ていただき、カルテの整理、物品などを見ていただき、「コスト管理」の重要性を感じました。自分達では気づかない所を助言していただきました。また、今後どのようなステーションに改善すべきか、だれが何を、家族的職場から組織として機能すべき改善点がたくさん見えました。アドバイザーさんのパワフルな仕事ぶり、仕事のノウハウを教えてください、大変良かったです。
- 開業して1年未満。手探りで運営の為、具体的な内容についてまでアドバイスを受けられなかった。
- アドバイザーから御意見、アドバイス、励ましの言葉を頂き、今後も頑張っていきたいと強く思いました。否定することなく、こうしたらもっと良くなりますよというアドバイスで本当にありがたいと思えました。
- 今回2回来て頂いてオープン間もないころの疑問点と半年ほど経過して色んな事例に当たった後の疑問は自分自身でびっくりする程違っていました。スタッフ教育の中で壁にぶつかる事もあり、すごく親切に説明して頂いて助かりました。亡くなるという経験も初めてして、アドバイス頂いてお通夜に参列し、その後ご主人が挨拶に来て下さいました。私としてはとても嬉しかったです。お付き合いは無くなるかもしれないけれど、いつも寄り添っているつもりで居たいなあと心に刻みました。出来る事なら、もう一度、1年経過したころに来て頂けると大変嬉しく思います。ステーションは県内でも、1年持たない所が半数近く居ると聞きます。その中で、半年間持った上に利用者が増えているという事は大変幸せに思います。きっとこれからの半年間がもっと大変で、伺いたい事もたくさんあるのではないかと思います。どうぞ出来るなら来年にもう一度逢いに来てください。待っています。
- 2回にわたりアドバイスをしていただきました。運営、管理していくうえで当訪看ステーションに必要な事を的確にアドバイスを頂き、ゴチャゴチャしていた自分自身の頭の中が整理されました。世の中には様々なステーションがあり様々な問題を抱えていると思います。それを個別に指導していただき、大変ありがたかったです。今後もこの事業が継続されますことを願っております。
- 1万円位なら、なんとか社長に頼めるかもと思いますが、この業界、オープン間もない事業所には厳しい現実があります。
- たくさんの事を確認でき、今後にかしていけるため、本当にありがとうございました。
- いつでもきけるとい事があればとても助かります。
- 他のステーションの話のを伺えて、とても勉強になりました。
- マーケティングについて、営業の持っていく方、訪問看護の売りどころなど自分達にはない角度からのアドバイスを聞けてとても役立ちました。
- 訪問看護の組織作り、ビジョンについてなども参考になりました。
- 今回は無料だったのでお願いしましたが、自分達の必要性を感じた時には再度有料でも依頼したいかもあるので依頼の窓口があれば良いなと思えました。とても助かり満足でした。ありがとうございました。
- 立ち上げから2年、制度や報酬についてとてもわかりにくく、訪問看護連絡協議会にお聞きしながら本当に手探り状態でやってまいりました。他のSTの管理者には聞きにくく、ぐちをこぼすところもない状態でしたが、アドバイザーと話すことで気持ちを共有して頂き、また、困難事例やDr.との連携についてアドバイス頂き、その後の訪問に活かすことができています。
- たくさんのアドバイスを頂き、又、話を聞かせて頂き、私ももっともっと頑張っていこうと力を頂きました。この出会いを大切に、今後ともアドバイザーの方とつながっていけたらと思います。ありがとうございました。
- 看護師として心情的な事や、私自身のメンタル的にも同意をしてくれた事がとてもうれしく、モチベーションになりました。
- 上の人も医療職ではないので理解に乏しく、その中でスタッフの意見を聞く事は本当に辛い時だったので2回とも良かったと思いますし、相談内容に対してもきちんとみてくれて意見を出してくれました。

- 教育の所で悩んでいました。有効なツール活用を教えてくださいました。
- 1回目の訪問では「自分がわからない事がわからない」状態でした。でも日に日にわからない事や子のステーションに足りないものが見えてくると不安な事も多く、また病院と会社の違いにも戸惑う事が多く、自身をなくしていたので、2回目の訪問では色々話を聞いてもらえた事や苦しい事や悩んでいた事も、理解してくれる人がいると思っただけで心強かったです。2月1日に1周年を迎えます。本当にありがとうございました。
- 貴重なご意見、アドバイスありがとうございました。これから事業展開していくうえで大変参考になりました。
- 現場で働いている管理者の方から指導や話をきいてもらうことで、手探りの中でしている状況で、現在の評価ができ、見直すことができました。色々悩み、つらい状況の中でアドバイザーの方が親身に話を聞いてくださり、わかってくださったことで前向きな気持ちを持つとうと思えることができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。このような事業を継続していただき、2回だけでなく何か月か毎にずっとフォローしていただけたらと願います。
- 弊社は若手の訪問看護師が多く、日々の業務に不安を抱えながら看護をしていたり、創業2年とういこともあり、業務が整理されておらず、これから業務改善をして行こうと会議を重ねていました。そのようなタイミングでのアドバイザー派遣を依頼し、アドバイザーに来て頂き、今後の方向性や業務改善ミーティングの方法など、すぐに実践できる内容を教えて頂きました。その後すぐ委員会を立ち上げたり、ミーティングをくり返し行うことができ、スタッフのモチベーションも上がりました。スタッフ個別の相談にも親身に、そして体験談を交え答えて頂き、とても感謝しています。ありがとうございました。

おわりに

アドバイザーを迎え入れて、貴重な交流の機会とお時間をくださった訪問看護ステーションの方々、また多忙な中、この事業にご協力・ご理解を頂いたアドバイザーの方々、そしてアドバイザーの所属する職場の皆様と関係者の方々に、深く感謝申し上げます。

參考資料

訪問看護認定看護師アドバイザー派遣事業

開設3年未満の訪問看護ステーションに アドバイザーを派遣します!

ステーション様の経費負担はありません

開設したばかりで
不安だ...



課題を相談する
先がない...



スタッフの育成
まで手が
回らない...



開設3年未満の訪問看護ステーションが抱えている様々な悩みを解決し、より質の高い訪問看護を提供できるよう、訪問看護認定看護師をアドバイザーとして派遣します。

応募要件

開設3年未満の訪問看護ステーションであること

派遣対象地域

神奈川県、千葉県、埼玉県、広島県、岡山県、島根県、鳥取県、山口県
香川県、愛媛県、高知県、徳島県、福岡県、長崎県、佐賀県、熊本県
大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

締切日

2017年6月9日(金)必着

◆定数がございます。7月末頃から派遣を開始いたしますので、お早目にお申込みください◆
(なお、アドバイザーとの日程調整等によりご希望に添えない場合もございます)



認定看護師の3つの役割

- 1 実践… 個人・家族・集団に対し、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践
- 2 指導… 看護職に対し看護実践を通して指導
- 3 相談… 看護職に対するコンサルテーション



お問合せ先

公益財団法人 日本訪問看護財団 訪問看護認定看護師アドバイザー派遣 担当
TEL : 03-5778-7008 e-mail : nintei@jvnf.or.jp

裏面のお申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください



申込書 FAX

03-5778-7009

申込者氏名	(フリガナ)	職位		
訪問看護 ステーション名	(フリガナ)			
日本訪問看護財団 会員 / 非会員	<input type="checkbox"/> 会員 (No.) / <input type="checkbox"/> 非会員	開設年月日	平成	年 月 日
所在地 連絡先	〒 住所			
	TEL		FAX	
	平日 9 時～ 17 時で連絡可能な時間帯 (時～ 時)			
ご相談内容	ご相談内容は①～⑤に分けて、できるだけ具体的に内容をご記入下さい ① 看護実践に関する課題 ② 困難事例の対応 ③ 訪問看護サービスの提供や方法 ④ 訪問看護ステーションの運営 ⑤ スタッフの育成 ⑥ その他			

… 訪問看護認定看護師アドバイザー派遣の流れ …

- 1** お申込書に必要な事項をご記入のうえ、
FAXでお申し込みください



- 2** 担当アドバイザーが決まりましたら、こちらから
ステーション担当者様へご連絡致します



- 3** 担当アドバイザーと
日程調整して頂きます



- 4** アドバイザーが伺い、
相談・コンサルテーションを
行います (原則2回)



- 5** 修了致しましたら
アンケート調査に
ご協力して頂きます



2017年度 日本財団助成事業
訪問看護認定看護師アドバイザー派遣事業 事前アンケート

1. ご回答頂く方の職種・経験年数・職位をご記入下さい。

- 1) 職 種 ①看護師 ②その他 ()
- 2) 1) の職種としての経験年数 () 年 () カ月
- 3) 2) のうち、訪問看護に関わっている期間 () 年 () カ月
- 4) 現職場の職位 ①スタッフ ②主任・副所長 ③所長 ④その他 ()

以下の質問に対して0～4で評価し、該当する数値に○をご記入下さい。

2. 管理・運営に関する相談	大いにある	まあまあある	あまりない	ほとんどない	非該当
①ステーションの運営に関する知識・理解がありますか？	4	3	2	1	0
②ステーションの経営/組織づくりに関する知識・理解がありますか？	4	3	2	1	0
③ステーションの業務改善に関する知識・理解がありますか？	4	3	2	1	0
④ステーションの記録方法等システム化に関する知識・理解がありますか？	4	3	2	1	0
⑤ステーションのスタッフ教育方法に関する知識・理解がありますか？	4	3	2	1	0
⑥多職種との連携方法に関する知識・理解がありますか？	4	3	2	1	0
⑦地域の保健福祉医療機関との協力体制に関する知識・理解がありますか？	4	3	2	1	0
⑧管理職自らの資質向上に関する知識・理解がありますか？	4	3	2	1	0
⑨ステーションの質向上に関する知識・理解がありますか？	4	3	2	1	0
⑩利用者・家族へ提供するサービスの評価に関する知識がありますか？	4	3	2	1	0

3. 事例に関する相談	大いにある	まあまあある	あまりない	ほとんどない	非該当
①事例の疾患・病態・治療についての知識がありますか？	4	3	2	1	0
②事例の予後や成り行きについて知識がありますか？	4	3	2	1	0
③事例の心理的な状況について理解がありますか？	4	3	2	1	0
④事例の家族の状況について理解がありますか？	4	3	2	1	0
⑤事例を取り巻く報酬や制度についての知識がありますか？	4	3	2	1	0

裏へつづく

⑥事例への医療処置や医療機器管理技術がありますか？	4	3	2	1	0
⑦事例のフィジカルアセスメントの技術がありますか？	4	3	2	1	0
⑧事例や家族へのコミュニケーションの技術がありますか？	4	3	2	1	0
⑨事例の看護問題について具体的な解決策を実行する意思がありますか？	4	3	2	1	0
⑩今回の事例や類似事例に今後も積極的に関わる意思がありますか？	4	3	2	1	0

4.訪問看護認定看護師についてのご質問やご要望等がありましたらお書き下さい。

2017年度 日本財団助成事業
訪問看護認定看護師アドバイザー派遣事業 事後アンケート

1.ご回答頂く方の職種・経験年数・職位をご記入下さい。

- 1) 職 種 ①看護師 ②その他 ()
- 2) 1) の職種としての経験年数 () 年 () カ月
- 3) 2) のうち、訪問看護に関わっている期間 () 年 () カ月
- 4) 現職場の職位 ①スタッフ ②主任・副所長 ③所長 ④その他 ()

以下の質問に対して0～4で評価し、該当する数値に○をご記入下さい。

2. 管理・運営に関する相談	大いに深まった	まあまあ深まった	あまり深まらなかった	ほとんど変わらない	非該当
①ステーションの運営に関する知識・理解が深まった	4	3	2	1	0
②ステーションの経営/組織づくりに関する知識・理解が深まった	4	3	2	1	0
③ステーションの業務改善に関する知識・理解が深まった	4	3	2	1	0
④ステーションの記録方法等システム化に関する知識・理解が深まった	4	3	2	1	0
⑤ステーションのスタッフ教育方法に関する知識・理解が深まった	4	3	2	1	0
⑥多職種との連携方法に関する知識・理解が深まった	4	3	2	1	0
⑦地域の保健福祉医療機関との協力体制に関する知識・理解が深まった	4	3	2	1	0
⑧管理職自らの資質向上に関する知識・理解が深まった	4	3	2	1	0
⑨ステーションの質向上に関する知識・理解が深まった	4	3	2	1	0
⑩利用者・家族へ提供するサービスの評価に関する知識が深まった	4	3	2	1	0

3. 事例に関する相談	大いに高まった	まあまあ高まった	あまり高まらなかった	ほとんど変わらない	非該当
①事例の疾患・病態・治療についての知識・理解が高まった	4	3	2	1	0
②事例の予後や成り行きについて知識・理解が高まった	4	3	2	1	0
③事例の心理的な状況について知識・理解が高まった	4	3	2	1	0
④事例の家族の状況について知識・理解が高まった	4	3	2	1	0

裏へつづく

⑤事例を取り巻く報酬や制度についての知識・理解が高まった	4	3	2	1	0
⑥事例への医療処置や医療機器管理技術が高まった	4	3	2	1	0
⑦事例のフィジカルアセスメントの技術が高まった	4	3	2	1	0
⑧事例や家族へのコミュニケーションの技術が高まった	4	3	2	1	0
⑨事例の看護問題について具体的な解決策を実行する意欲が高まった	4	3	2	1	0
⑩今回の事例や類似事例に今後も積極的に関わって行く意欲が高まった	4	3	2	1	0

4. アドバイザー派遣事業について	大いに あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない	非 該当
①アドバイザー派遣に満足している	4	3	2	1	0
②アドバイザー派遣により、ステーション内に何らかの変化がみられた	4	3	2	1	0
③アドバイザー派遣の相談時間は適当であった	4	3	2	1	0
④アドバイザー派遣をまた別の機会に受けたい	4	3	2	1	0
⑤アドバイザー派遣が有料の場合でも、依頼したいと思う	4	3	2	1	0
⑤にて「4.3.2.」に○をつけた方に伺います。 アドバイザー派遣料として支払い可能な金額をお選びください <input type="checkbox"/> ～1万円以下 <input type="checkbox"/> 1～2万円 <input type="checkbox"/> 2～3万円 <input type="checkbox"/> 3万円以上 <input type="checkbox"/> その他（ 円）					

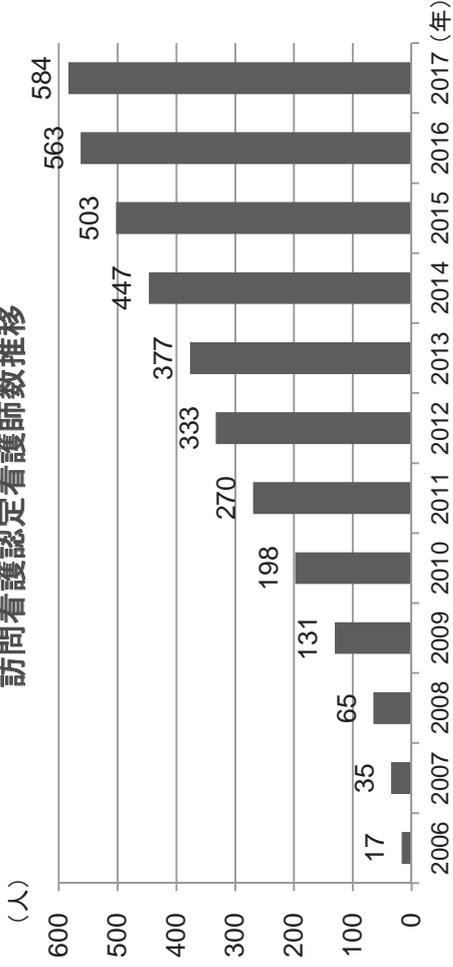
5. アドバイザー派遣事業やこのアンケートについて、ご意見・ご感想をご自由にお書き下さい。

6. 訪問看護認定看護師についてのご質問やご要望等がありましたらお書き下さい。

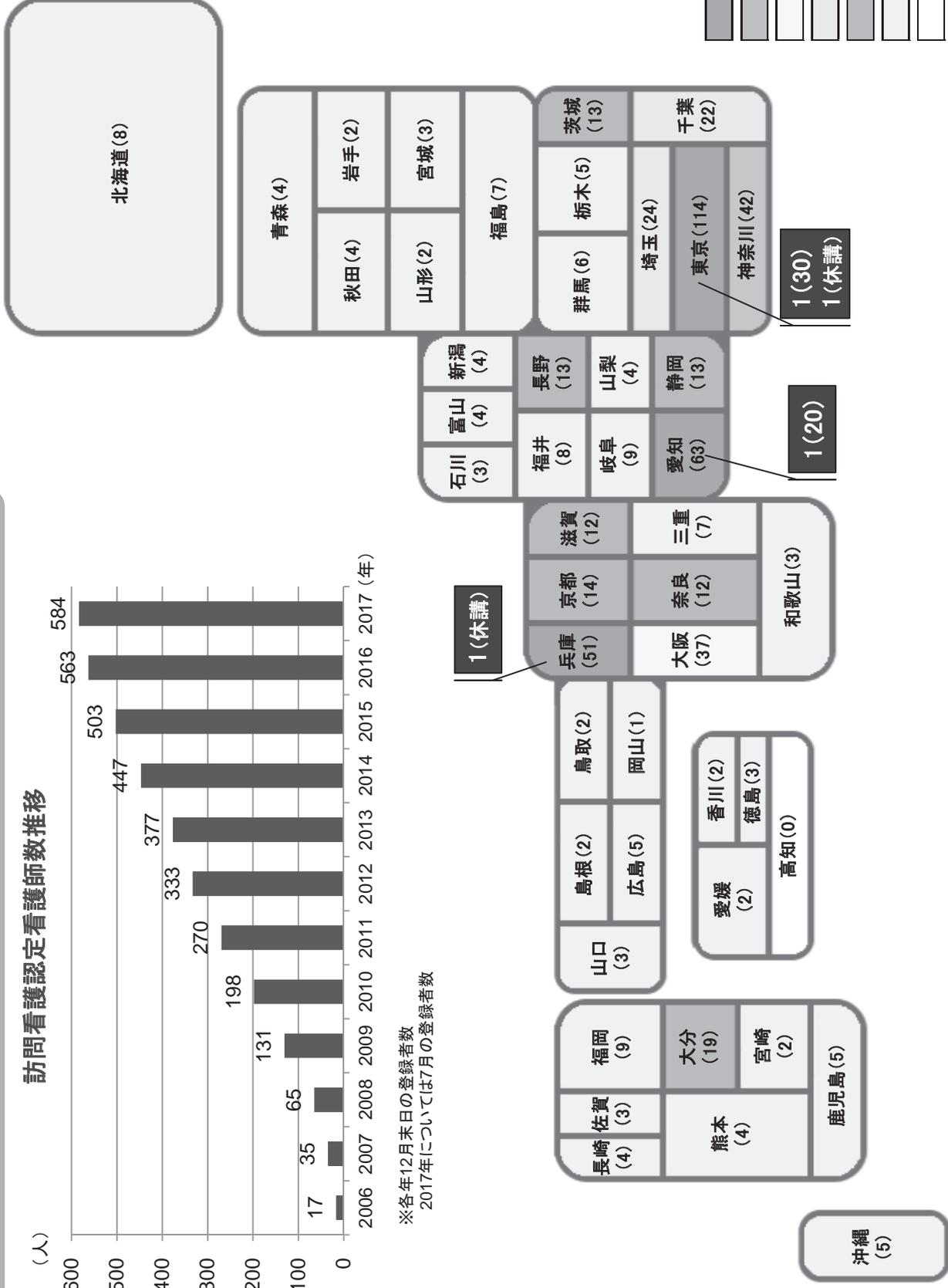
（資格取得の希望など）

訪問看護認定看護師数 584名

訪問看護認定看護師数推移



※各年12月末日の登録者数
2017年については7月の登録者数



- 51人以上
 - 41~50人
 - 31~40人
 - 21~30人
 - 11~20人
 - 1~10人
 - 0人
 - ()
- 教育課程数
(2017年定員合計)

2017年度日本財団助成事業 訪問看護認定看護師アドバイザー派遣事業

2018年 3月 印刷・発行

発行 公益財団法人 日本訪問看護財団

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 日本看護協会ビル 5階

T E L 03-5778-7001 (代表)

F A X 03-5778-7009

U R L <http://www.jvnf.or.jp/>

印刷 株式会社サンワ

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-11-8

● 記載事項の一部または全部について、許可なく複写・複製することを禁じます

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION